

即戦力IT人材輩出プログラム

GOALSkill

ご紹介

S<sub>ストア
mart</sub>TOV

2026.3.11

AI時代に、
人材の採用及び育成（社内教育）の課題を

GOALSkillで解決することで、

人と企業がともに成長する

AI時代に合った人材の採用及び育成 (社内教育)

1. 採用における課題：激化する争奪戦と評価軸の変化
→ 「AIリテラシー」の評価基準が不明確
2. 育成における課題：スキルの二極化と「人間力」の再定
→ リスキリングの予算と指導者の不足
3. 組織・制度における課題：構造的なアップデート
→ 実地学習（OJT）機会の減少・評価制度の不整合

3つの課題「採用」「育成」「組織・制度」 「GOAL Skill」で解決！

GOALSkill、企業課題解決のご提案

1. 採用における課題：激化する争奪戦と評価軸の変化

「AIリテラシー」の評価基準が不明確

→ AIで、各企業の評価基準に沿った育成・「基本情報技術者」取得

2. 育成における課題：スキルの二極化と「人間力」の再定

リスキングの予算と指導者の不足

→ SPI個人特性と会社PJTの特性のAI個別指導・非定型スキルも学習

3. 組織・制度における課題：構造的なアップデート

実地学習（OJT）機会の減少・評価制度の不整合

→ AI前提の若手成長機会の創出、MBOシート・成果指標（KPI）構築

企業の目標・個人SPI等の個別特性

設定

企業と個人の入力→AIで目標・GOAL設定

評価の標準化・企業の指導者不足・社員のモチベーション管理

評価

AIが上司とのコミュニケーションとモチベーションをサポート

学習成果と成長の基準の明確化

育成

各会社のPJTと「基本情報技術者」カリキュラムのAI自動生成

各企業のニーズに合った採用と人材確保

紹介

企業の要望に沿って、AIで育成し、AIでマッチング、Aiで紹介

登録

GOAL Skill



企業

塾生

PJT

GOAL マッチング

目標設定 AIで GOAL設定

生成

カリキュラム
Team
PJT
評価基準

企業

PJT

評価AIで 評価・育成

Team

評価 モチベーション管理 Communication評価 プレゼン評価

学習AIで 理解する

育成AIで 成長する

自ら

育成 選択し 調べる 考える

紹介AIで 目標達成

Skill マッチング 紹介・面接 採用・就職

GOAL
SKILL
資格

流れ

新入社員
PythonやDB、API
資格
(基本情報技術者)
目標管理シート

求職の方

目標を
一緒に決める

<対話>
Q&AのAi

<知ってもらう>
・資格とは
・資格→進級等

<自分について知る>
・SPI
・MBTI
・個人情報
・個人特性Q&A

やる・やれる
時間と分量等
を対話で判断

何を、いつ、
どのぐらい
の習得量

<知るための>
カリキュラム

<Daily>

やるか
やらないか
やれないか

やらない気持ち
の場合は、
もう一度
対話を通して
なぜやるべき
かを根気よく
伝える

上司やAiの
応援
コメント

なぜやるべき
かを知ると
やりたくなる

<Daily>

<やるための>
カリキュラム

<自分が決めた>
カリキュラム

<Aiが決めた>
カリキュラム

自分が決め
るための
Ai
アドバイス

目標管理
シート

<6か月>

<Daily>

<確定>
カリキュラム

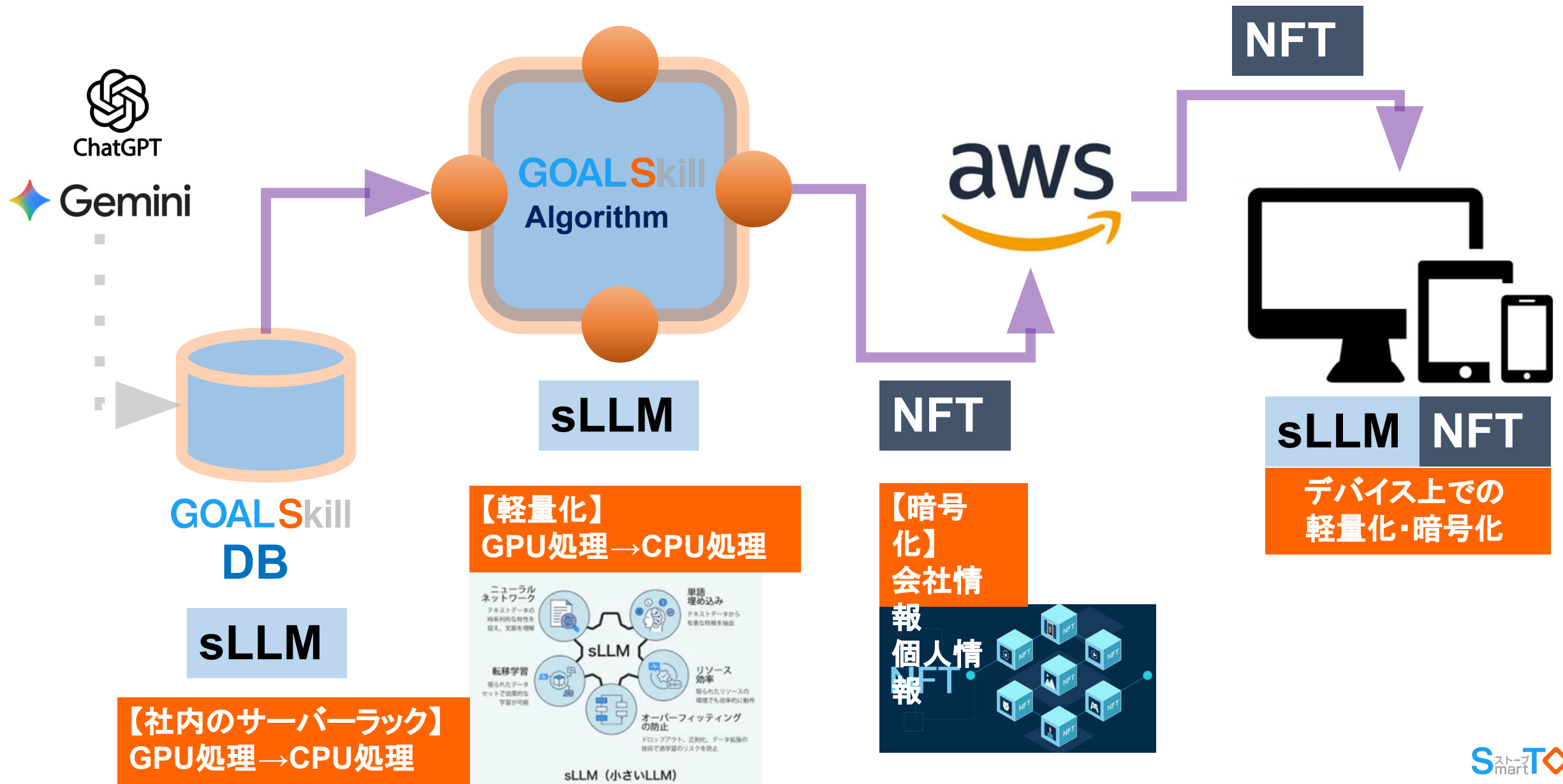
<AiのQ&A判断>
・やっているのか
・やっていないのか
・やれていないのか

<継続させるための>
Aiと上司や仲間の
応援・アドバイス

<資格習得>
<面談機能>
<毎日日誌>

自己紹介Site
履歴書等

※採用担当の基準なども



- ・ 会社と自分がともに成長するAiパートナー
- ・ 成長（取得や学習）は一人で頑張るのではない
Aiと上司や仲間と、対話を通して成長する
- ・ 「毎日の自分」に合ったカリキュラム
- ・ なぜ、自分が頑張るべきかを、教えてくれる

目標を達成するための、
悩み相談、フォローする

自分では見えない、わからない、
しかし、切実な悩みやだれかに相談したいことを

一緒に考えてくれる
自分の目標達成と成長のための
もう一つの仲間

AIと毎日、対話を通して

- 自分の数字計画を立てる
- 自分の行動計画を立てる
- 自分の計画を自分と Teamで評価する

自分の目標だけではなく、
Teamの目標達成状況も認識しながら、

Teamと一緒に達成していく

GOALSkill、それはノウハウの集合体

1. 育成のノウハウ **2年間の実績（Python3,DB,Server&TeamPJT教育）** ※韓国人

→ 50名以上の文系の就職希望者・在学生の日本IT企業への内定

2. テクニカルのノウハウ **AIサービス立ち上げの実績（企画・設計・開発PM・サービスin）**

→ AI議事録サービス、全国規模への拡大

3. 営業と組織のノウハウ **チームメンバーの実行力**

→ 札幌での30年IT企業と代表者が、事業と経営のパートナー



AI時代の人材育成では、「技術を使いこなせるスキル」とともに、「人間にしかできない価値の創造」が鍵

GOAL Skillの具体的な人材育成モデル

AI活用PBL(プロジェクト型学習)

AIで調査・アイデア出し → グループで議論 → 実社会に提案
AIを使いこなし、社会課題に向き合う力

AI×キャリアデザインワークショップ

AIによる職業分析・未来予測を活用し、自分の進路を考える
主体的な進路選択、自己決定力

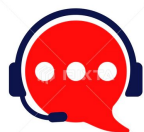
AIとの対話型リフレクション

学習後、AIと振り返り対話を実施
自分の価値観や判断基準の言語化

AI倫理ディベート

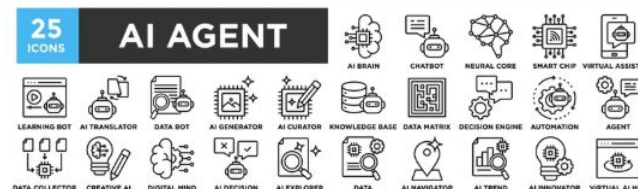
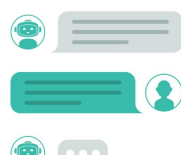
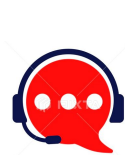
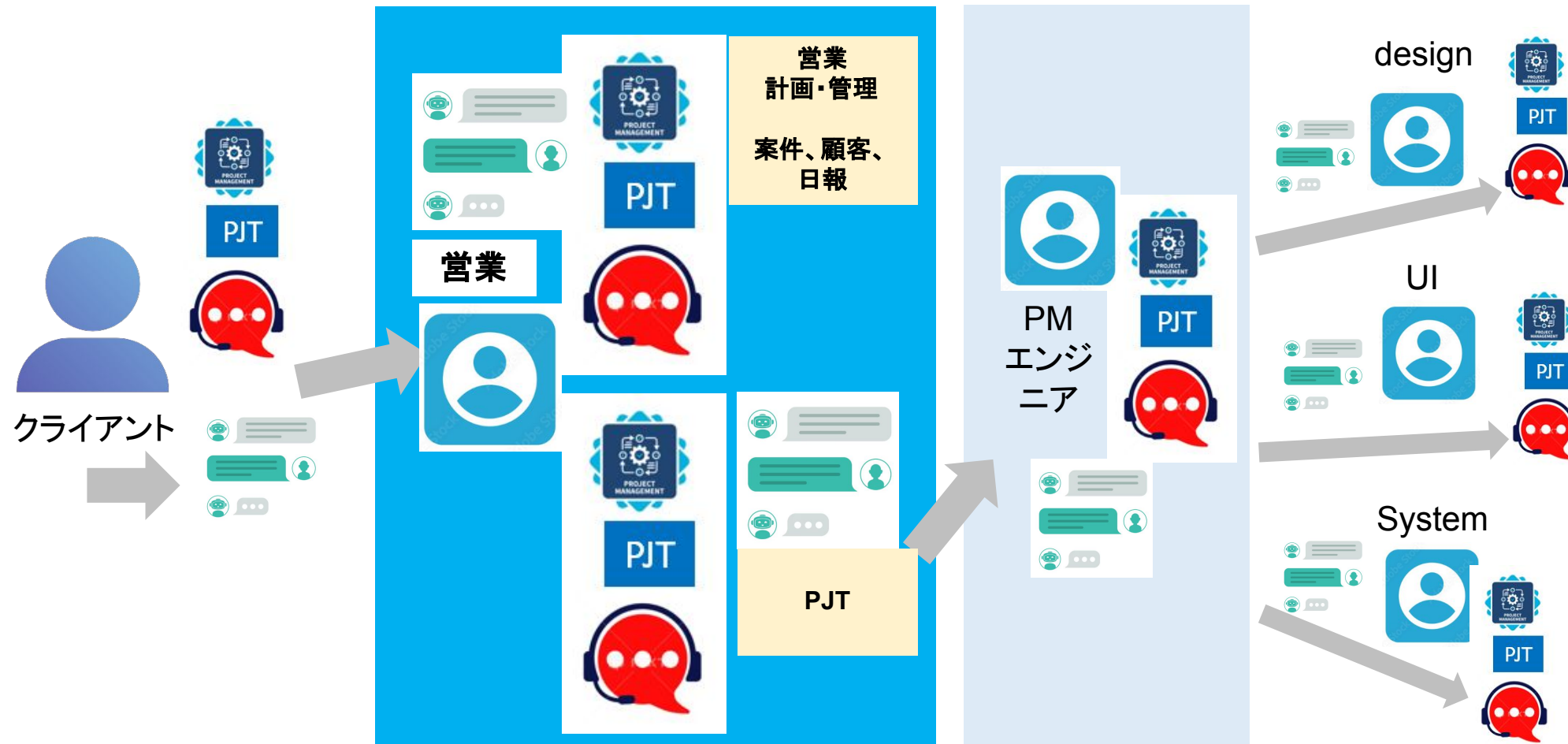
AIの提案の是非や社会影響について議論
批判的思考力、情報の取捨選択能





今の時代、これからの時代、 どんな人材が必要なのか

GOALSkill
Cconfidential



チームメンバーのご紹介



代表取締役

企画・開発 Management

金 丁龍(キム チョンヨン)

Management Growth

- ・600%成長 20→120人 4years
- ・240%成長 50→120人 5years
- ・Profit 成長 0→3億円 2years

Medical

- ・健康診断カルテの電子入力サービス化
- ・再生医療会社 Ai/IT アドバイザー

Education

- ・新卒新入社員の教育
教育分野:
経営企画、人事、経理、企画、営業、ディレクター
エンジニア、デザイン等
- ・韓国政府のIT人材育成PJT
毎年約25名の育成→python3のBランク
及び日本国内企業就職(複数)

- ・韓国生まれ 1992年 来日
- ・多摩美術大学 グラフィックデザイン学科卒業
- ・高島屋及び西武グループ広告デザイナー
- ・1999年から IT業界会社へ転職

- ・IT業界 中小・中堅企業5社での20年以上勤務
- ・Ai業界 5年以上
- ・IT及びAi案件合わせて、350件以上の案件をPM統括。直案件100件以上

- ・代表、役員、経営企画室長、営業部長、企画開発部長、新規事業部長として、
顧客サービス企画開発と組織づくりによる事業拡大のマネジメント及び
PJT案件のPM

- ・日本政府Startup50に選定されたAi会社の子会社代表として、
AI議事録サービス企画、開発・販売

- ・医療Medical Ai 会社の技術関連役員

- ・日韓産業技術協力財団(政府機関)の IT教育関連 PJT

- ・札幌市の人材供給PJT(日本人、留学生、韓国人の対象)
札幌市のIT産業部署、産業振興財団、IT推進協会との共同PJT

- ・認知症関連MCI—PJTのPM

PMの案件事例(数千万円～数億円の規模)の一部ご紹介
最大手飲食店検索、サッカー用品EC通販、SNSシステム、大手製薬
新薬関連BtoCアプリ、自動車広告サーバー100台運用、健康診断カルテ電子化システム、AI議事録サービス(国内初)等々



2026
Strategy
「未来への扉」

メディア・マジック社長
里見 英樹氏

「バスキタ」需要、AI
活用システム開発が拡大

（さとし・えいき）1961年芦別市生まれ。小樽商科大学大学院商学研究科修了。82年ソフトウェア開発会社に入社。多数のソフトを開発し、さまざまな賞を受賞する。96年創業。北海道モバイルコンテンツ・ビジネス協議会相談役、北海道IT推進協会副会長、北海道情報システム産業協会副会長、北海道日中経済友好協会会長。

25年はAIを活用したソリューション開発を推進した。「新規の発注が増える中、スピード感を持ってシステムの提供ができました。北海道、札幌の中小企業のDX化のお手伝いをしていきたい」
25年末には韓国入企業家とAIの会社を共同で設立。若手の海外人材を採用し、多国籍企業へと進化させる。運行状況をリアルタイムで知らせる「バスキタ」の需要は拡大。北都交通の空港連絡バスに提供を開始し、東川町ではデマンド交通・予約制「乗合バス」を導入した。
「過疎地域のコミュニティバスにも活用してもらいたい」
一方で25年6月、自身は北海道総合通信局長賞を受賞。「北海道起業家甲子園の審査員を長年務めた事を評価していただいた。出場者から刺激を受ける事も多々あります」
北海道日中経済友好協会会長として、親睦団体を超えた両国の橋渡し役も担う。

取締役

営業・
資金調達

里見 英樹 プロフィール

生年月日：1961年9月13日

出身地：北海道芦別市

最終学歴：小樽商科大学大学院 商学研究科

1996年 株式会社メディア・マジック設立。代表取締役

北海道モバイルコンテンツ・ビジネス協議会（HMCC）相談役

北海道情報システム産業協会 副会長

北海道IT推進協会 副会長

北海道ソフトウェア事業協同組合 理事

さっぽろイノベーションラボ 理事

札幌商工会議所 常議員 情報部会長

北海道日中経済友好協会 会長

京都情報大学院大学 教授

星槎道都大学 理事

LTV (顧客生涯価値)

S_{ストア}mart^{TOV}

AI+絵(本)+プログラム

Part I: AI+プログラム

英語・数学・国語(日本語)・論理思考

中高生

Part II:

札幌の大学への
留学・入試プログラム

子ども
小学生

子どもを産むと

社会人
リスク

AI+リスク教育

大学生
新入社員

AI+就職
AI+人材育成(エンジニア)

GOALS_{Skill}

S_{ストア}mart^{TOV}



顧客獲得LOADMAP



求人サイト



札幌でオンラインプログラム教育
英語・数学・国語(日本語)・論理思考なども

札幌の大学への留学・入試プログラム

札幌の企業への就職

札幌の企業での人材育成(エンジニア)

札幌の社会人のリスキル

例) 5万円

